

部長	室長	課長	副課長	係長	係

作成者 (所属) スポーツ振興 課  
(氏名) 藤枝 佑一郎

### 平成28年度 施設管理運営事業評価票

#### 1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立スポーツセンター、末広体育館				
所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号、末広町3番77号				
指定管理者	団体名	(公財)宝塚市スポーツ振興公社	指定期間	開始日	平成26年 4月 1日
	所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号		終了日	平成31年 3月 31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間 5年のうち 2年目	
施設設置目的	青少年の心身の発育並びに住民の体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年、住民の育成に寄与することを目的とする。				
主な実施事業	①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業				

#### 2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	970	675	970	751	900	745	900	896
b 施設利用率	%	65	67	65	68	65	65	65	68
c									
d									
e									

\*平成25年度までスポーツセンター、末広体育館、高司グラウンドの3施設共通で協定を締結していたため、高司グラウンドの実績をスポーツセンター及び末広体育館における施設管理運営事業評価票に含んでいる。

#### 3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度 予算
収入計	A	314,047	315,762	319,600	333,511	337,278
指定管理料		74,779	74,530	80,473	77,381	83,190
利用料収入	C	147,753	147,483	145,742	150,656	147,625
自主事業収入		78,488	80,402	83,196	94,056	93,900
その他		13,027	13,347	10,189	11,418	12,563
支出計	B	311,291	311,987	317,499	328,676	337,278
指定事業費		275,982	277,653	280,516	283,232	285,215
内、人件費	D	74,794	76,161	74,025	75,864	82,225
内、再委託料	E	109,351	112,760	112,363	119,326	123,685
自主事業費		35,309	34,334	36,983	45,444	52,063
事業収支	A-B	2,756	3,775	2,101	4,835	0
利用料金比率	C/A	47.0% %	46.7% %	45.6% %	45.2% %	43.8% %
人件費率	D/B	24.0% %	24.4% %	23.3% %	23.1% %	24.4% %
再委託費比率	E/B	35.1% %	36.1% %	35.4% %	36.3% %	36.7% %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。また、最右欄には、今年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A A A	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A A	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A A	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	B A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	A A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A A	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A A A	A A A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	B
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A A	B A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	A A B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	B A A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A A A A	A A B A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A A	A B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B
	《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題等)	施設管理面については、利用者の安心・安全を第一に、公社独自の予算でも施設修理等に対応している。その成果があり、大きな事故もなく、利用者の安全を確保できている。また、管理費等の節減や自主事業の拡大により、公社経営の安定化を図り単年度黒字決算を維持している。今後とも、安全・安心・快適でいつでも、どこでも、だれでも、いつまでも「続けることができるスポーツ及びレクリエーション施設として市民に愛される施設運営を目指していく。			
施設所管課所見 (成果、課題等)	予算執行状況においては、経費の節減や自主事業等自主財源の確保により、昨年に引き続き黒字決算である。特に、自主事業による市民スポーツ及びスポーツレクリエーション教室は、市民ニーズを捉え、様々な教室を実施しており、高く評価できる。また、光熱水費については、電力契約業者を変更したことによる削減等にも努めている。 施設の管理としては、利用者の安全管理に重点を置き、日々の施設設備等の補修を指定管理者により適宜行っており、施設の適切な維持管理を行っていると評価できる。			
前年評価	B	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
《総括》:	A (優良) = 評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。